

令和5年度第1回松山市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和5年5月24日（水）13:30～14:40

場 所：センタービル4階 第1会議室

出席者：地域包括支援センター運営協議会委員10名、各地域包括支援センター、事務局

議 事：（1）地域包括支援センター運営状況について

①地域包括支援センターの活動報告等

②基幹型地域包括支援センターの活動報告等

（2）その他

（1）地域包括支援センター運営状況について

①地域包括支援センターの活動報告等

- 令和4年度は、アンケート調査を実施した地域包括支援センターが多かった。結果をしっかりと分析し、地域の課題解決につなげてほしい。
- 地域の介護支援専門員のレベルアップのため、事例検討会の積極的な開催や開催要項を策定するなど、支援体制の強化が図られている。
- 職員一人当たりの相談件数が伸びており、地域包括支援センター間で相談件数に差も見られる。他の自治体の動向を見ながら弾力的な人員配置を検討してはどうか。
- 民生委員と介護支援専門員の交流会は協力関係を構築するために重要である。コロナ禍で機会が減っていたが、令和5年度は積極的なものとなっており、期待している。
- マンションは民生委員などの支援が入りにくいところであり、地域包括支援センターが不動産管理会との関係性を構築していくことは重要である。
- コロナが5類相当に移行したとはいえ、地域包括支援センターの主な対象は高齢者であるため、活発な活動と感染症対策を両立することは難しいと思う。今後も緊張感を持ちながら、積極的な活動を展開していただきたい。苦労があると思われるが、コロナ禍の3年間で変わったものを徐々に取り戻していく取組が重要だ。

②基幹型地域包括支援センターの活動報告等

- 3年間のコロナ禍で高齢者虐待は増えている。高齢者虐待は介護支援専門員などの専門職単独では入り込みにくく、判断しづらい。各専門職が、地域包括支援センターや基幹型地域包括支援センターと密に連携し、解決に向けて協力したい。

（2）その他

（意見）特になし